



Kyoto

京都路地入



いい天気です。



15分ほど早く着きました。
烏丸今出川東入にある冷泉家です。

京都非公開文化財特別公開というイベントなんですが、
お寺の天井も見なかったんですが、冷泉家が公開されるというのに
心惹かれました。



なんか見たことのあるような無いようなのが
載ってはります。やはり一般家屋とは違いますね。





若かりし頃、このお隣にある学校に通っていて、
その頃はここが冷泉家だとか何だとかいうことは
何も知らなかったんですが、一度行ってみようかなと。

そして写真はここでおしまい、、、。
さすがお公家さんのお家で、一般家屋とはちょっと違いますねん、
なところが色々あったんですが、残念ながらお見せできません。



母校の横を通って、これも在学中は一度も行ったことのなかった
相国寺に行ってみることに。

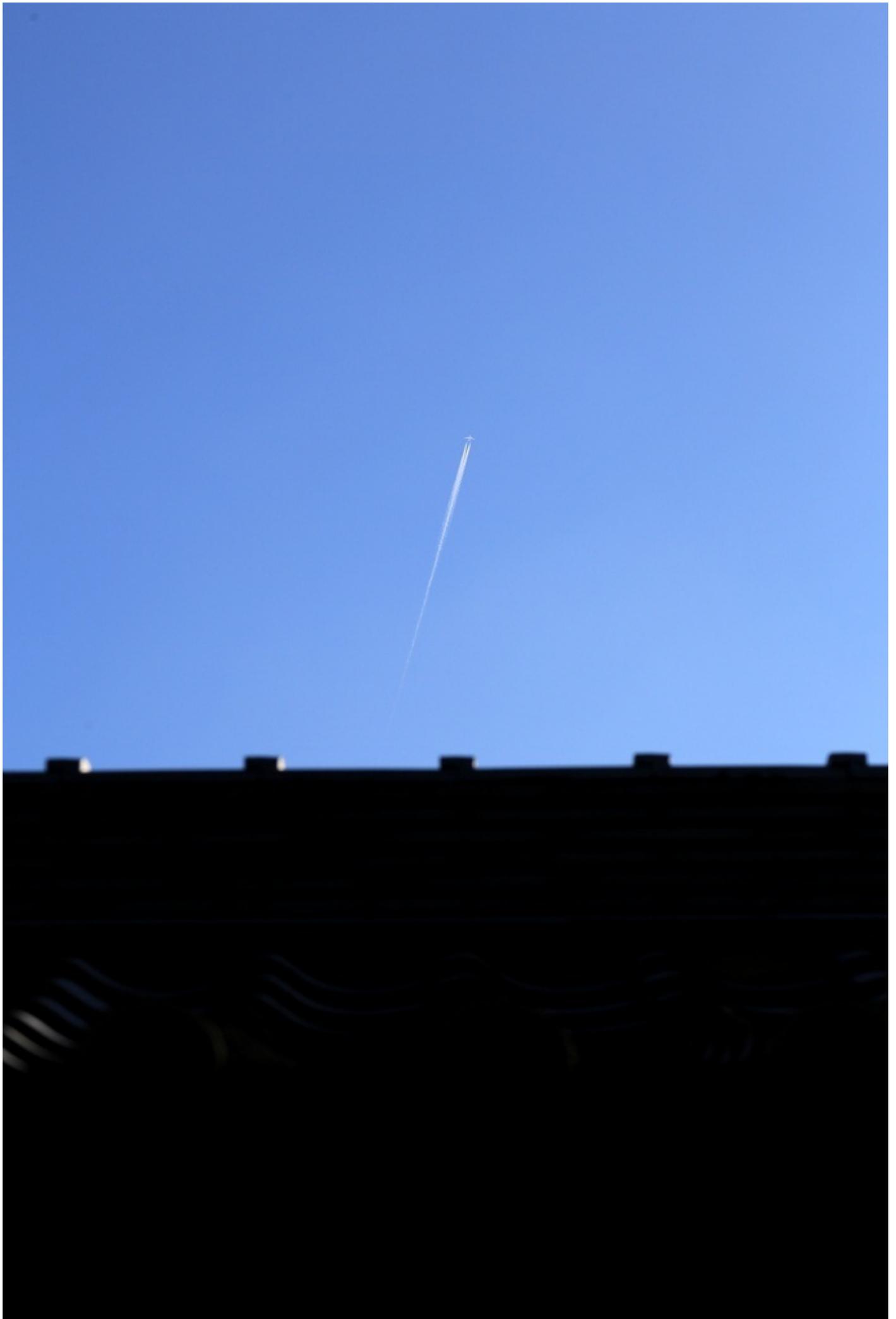
これ、何館やったかな？ こんなんあったっけ？
大学生って、小学生と違って学校探検とかしませんから、
しらん建物も若干あったりして、、、。



相国寺がどういうお寺かと言いますと、
時代劇の撮影をよくやっていたという記憶しかありません。

下宿に遊びに来た友人が、
「さっき、必殺仕事人が走ってたで一。」とか言ってました。

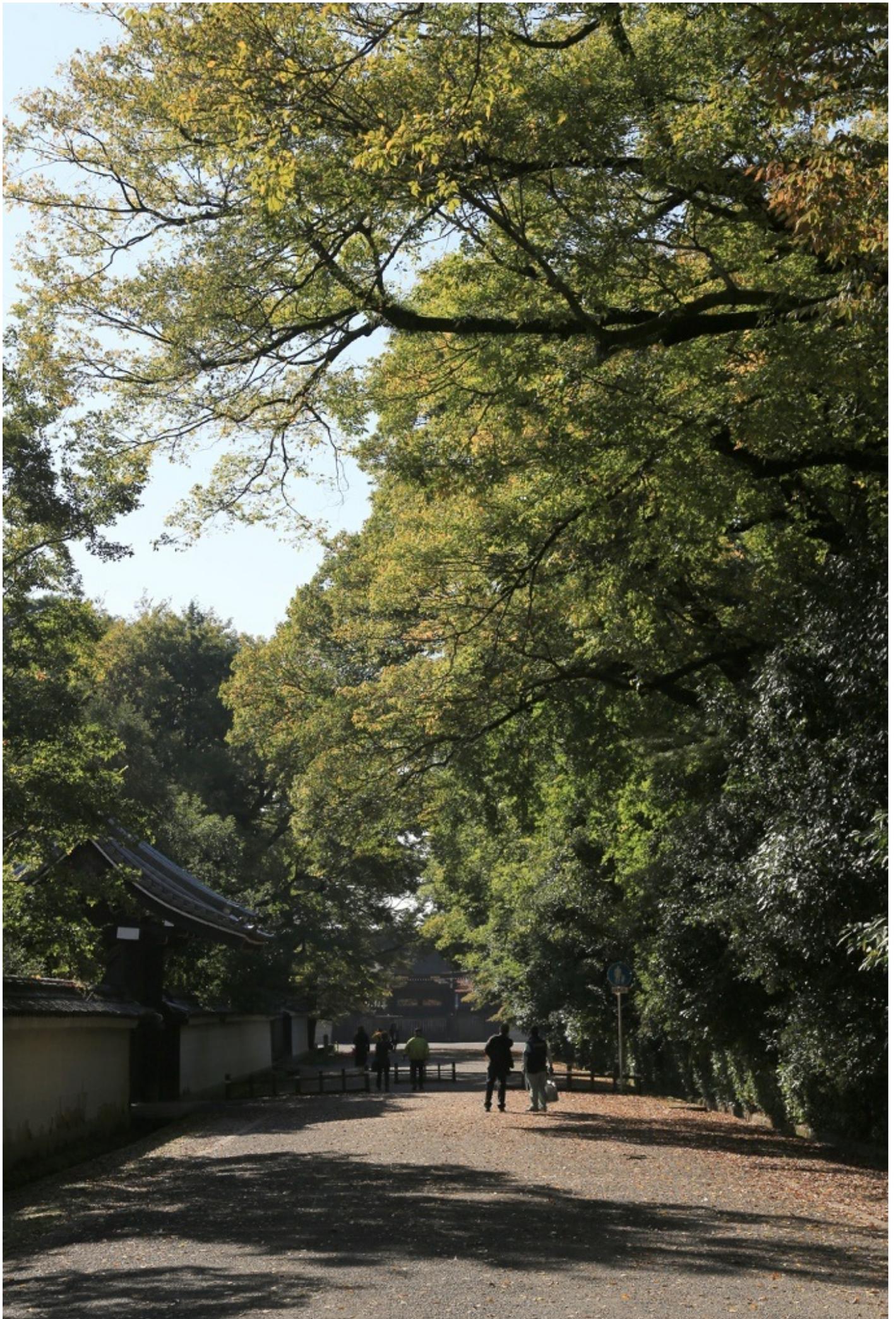
禅宗のお寺ですよ、確か。







想像してたよりも大きなお寺で驚きましたが、
人はあまりいません。



そこそこに切り上げて、京都御所へ

ここでアジア系の老婦人に

"Is ths Imperial Parace?"と聞かれたんで、
"Yes... It is Kyotogosyo."と念を押しときました。
今はもう天皇はんはおらしませんので。



公園の北側はあまり下草狩りとかをしないで、
自然の植生のままにしてあるようです。

少し木の説明札なんかも見かけましたが、あまりよくわかりませんでした。

東はもっと鬱蒼と茂っています。







高いなあ。







西側をぶらぶら歩いていると、何やら人だかりが。

ああ、一般公開やってたんか。

25年ぶりぐらいに見る気になりました。

京都御所、あまり面白くないんです。



とはいえやはり立派です。

広いし、大きいし。

資金面が潤沢にあるせいか、白壁も濁りなく白いです。

式年遷宮資金に苦労している下鴨神社に分けてあげて欲しいです。

もちろん私は、下鴨さんの方が好きです。



パンフレットによると御車寄となっています。

冷泉家では、説明員が立っていて「ここはこういうところで
こういうエピソードがあります。」なんてことを説明して
くれたんですが、、、。



漆喰の白さに、障子の汚れが余計に目立ちます。
せめて茶色染みだけでも取るとか。

桜かな。



合理的に考えれば、カクカクと曲がっていくのではなくて
斜めにまっすぐ廊下をつけた方がいいのでしょうし、
中庭が建物を削っているのですが。

中庭を作りその周りを回っていくようにすることで、
採光や、景と色、視角の変化、移動距離などで広がりを感じるように
作られているんでしょう。



この虎は、虎に見えなくもない。
でもどうして日本画の虎は、目と目の間が空いているんだろう。

そこが可愛いという見方もできますが。



諸大夫の間だと思われ、、、
諸大夫・・・下っ端の公家です。



ああ、びっくりした。いつの間に平安神宮に来たかと思いました。

承明門が再建されていました（以前はなかったと思うのですが）。

この門だけ朱色。

他は茶色なのにここだけ朱色。

近くで、「こんなんいらん。」という声がしました。

しかもちょっと安普請です。



季節がら花はありませんが、左近の桜です。



こちらは右近の橘。帝から見て右左。

京都の右京区、左京区も同じです。

手前の階段の傾斜のなだらかさが、紫宸殿全体を優美に見せています。



中に入って清涼殿。帝のプライベートスペース。

帝って実は椅子暮らしだったんですね。

手前の人形は、有職人形師さんが作られたものだそうで、

(そういう説明書きがありました。)

今ふうには言えば等身大フィギュア。



この扉が面白くてですね。よくできているんですよ。

廊下は結構狭くて、この扉を開けるとほとんど通れなくなる。
でも、扉が中折れ式になっているので、全開にしても
扉の半分しか出っ張らないんですね。



私、雅楽というものを、初めて間近に見せていただきました。
なんとビジュアル系ないでたち！
1200年前の音楽ですから、聞いててもあまりよくわかりませんし、
長いし、どうにも、、、なのですが、
でも”雅楽を始めて見た”というのは、かなり嬉しかったです。

これ一曲3分ぐらいにアレンジすれば、もっと受け入れられやすくなると思うのですが、いかんのでしょうかね、きっと。



御常御殿の襖絵

後代ではこちらが本当の帝のプライベートスペースだったそうです。
模写なのか新調なのか、作者名だけでは時代も分かりませんでした。

こういう農村風景とか、野鳥とかが描かれています。

題材が、洋の東西で同じところが面白い。



うーん。もうちょっと近くで見たいなあ。



寺院建築とは違い、住居なので扉が多いようです。

雨風が当たるので木製の扉なのですが、
こうして梅の枝なんかが描かれています。



ここにも。これは蹴鞠ですね。

板戸の絵はあまり見る機会がないので、貴重な体験でした。

(朱色の門にお金使うぐらいだったら、ちゃんと修復しようよ。)



左右左右と重なって。
遠いものは小さく、近いものは大きく。
そうやって遠近感を出しているのですが、
この金色の靄と、春秋の草の混在が
まるで仙境に佇んでいるかのように感じさせます。



藪を跳ね上げてあるのを見ると、可笑し味が湧いてきます。
こういう奇妙な構造にした合理的理由が見えてこない。

雨戸なんだから外せばいいじゃない、と思うんですが、
それは重くて面倒、とか考えた人がいるんでしょうね。

でも、この景色自体は決して嫌いではありません。



行幸の様子を描いているのでしょうか。

牛車って大きいんですよね。

人の大きさと比べてみてください。



御所の外には名の知れた老舗が軒を連ねてテント販売。
しかも売り子さんは、普段は店の奥にいてはりそうな
お年のお方が多くて。
御所の一般公開って、特別なんやろか。



今年お初の紅葉。御所の中で、ここだけ。
まだ、もうちょっと早いな。

真下魚名の既刊

[Travelogue ep.9 このPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochrome](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった」](#)
[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)
[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)
[「僕と彼女と単純な関係式」](#)
[「僕と彼女と校庭で」](#)
[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)
[「僕と彼女のアリア」](#)

「黄金の麦畑」 [1.Largo](#)
[2.Allegro molto](#)
3.Adajo

「黄昏の王国」
[イーリアス編](#)
[アリスア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)
[「Travelogue ep.01」](#)
[Photo「Hina」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)
[Photo「からくれないに ni」](#)
[Photo「bleu, jaune, vermillion」](#)
[Photo「H.45」](#)
Photo「Fly me to Paris I～XIV」
[Photo「祇王 こげのころも」](#)
[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

「ネガティブズ2」
[「ネガティブズ」](#)
[Photo「空と僕と自転車とni」](#)
[Photo「空と僕と自転車と」](#)
[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)
[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき春の野を行く」](#)
[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)
[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)
[Photo「空と木とたまに月」](#)
[Photo「からくれないに」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)
[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)
[夕暮れの赤ちようちん](#)
[いもうと](#)
[サマータイム・ブルーズ](#)
[危険なドライビングマジック](#)
[デフラグメント](#)
[インフルエンス あのころの僕たち](#)
[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)
[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)